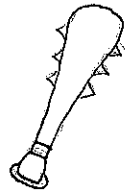




ワラスだよ!!
かぜぐみ そらぐみ たいようぐみ
2025.2.27 円町まぶね隣保園



かぜぐみ



制作展ありがとうございました



空箱等を使ったロボット制作は、子どもたちとも楽しみながら取り組んでいました。作っている時も、友達に「自分はこんなロボットを作ったんだ」と伝えたり、通り掛かった保育者に「みて〜!」と自信たっぷりに見せたりしていました。それぞれ思いがぎゅっと詰まったロボットが完成し、早く皆に見せたくて、うずうずしていた子どもたちでした。

室内あそびが大好きすぎて...

寒波が押し寄せた2月も「さむいな〜」と言うことが増えました。お散歩の予定をしている日でも、子どもたちに「お散歩(園庭)かお部屋かどっちがいい?」と尋ねると、少し考えた後で「おハヤ!」「おもちゃ!」と答えたり、日差しが全くない日には考える間もなく、「おハヤ!」と答えたりしていました。

そんなある日、少し寒かったのですが、お散歩に出掛けることにしました。園週辺も散策した帰り道、子どもたちは「はやくかえろ!」と言っていました。帰ると食事時間になっていたのですが、靴を脱ぐ前に「おハヤであそぼ〜」と子ども同士で話していたので、「もうご飯...」と伝えると、顔を見合わせて、「えっ...」と少し残念そうにしました。また、ある時は、園庭に行きたい子どもと室内であそびたい子どもと2グループに分かれて過ごすこともありました。「どっちでもいいよ」と伝えられると、自分たちで考えて、一人ひとり決めていました。

友達に流されることなく、自分で考えて自分で意志を伝えられる姿も成長の1つ。同じ室内あそびでも、「今日は何のおもちゃを出す?」と聞くようにしています。

ただ、何となくあそび始めるのではなく、考えられる場や、思いを伝えられる場を作り、やりとりする時間をこれからも大切にしていきたいと思っています。

3月25日(火) 園外保育を予定しています。歩いて遠くの公園まで行きます

この日はお弁当の日となりますので、よろしくお願いたします。



* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *
2月は急激に気温が下がる日もあり、雪も降ったり寒い日が多くなりました。卒園、進級に気持ち膨らませて日々を過ごす中で、時々見られる不安も、期待に繋がるよう毎日を楽しく、元気に過ごしていきたいと思ひます。今年度も残り1ヶ月という短い時間ですが、一日一日を大切に、毎日が思い出になるよう思いきり楽しんでいきたいです。
* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *

制作展への作品作りを通して

そら組... それぞれ好きな帽子を作りました。こんな帽子を作るか言っていると、最初は「ん〜」「えっ〜」と迷いながら語っていた子どもたち。風船に和紙を見取り、土台を作り始めると形になり、アイデアが出てくると保育者や友だちと話し、どんどん作りたてのものへの思いが溢れていきました。「私(〇〇)の帽子!」「この色でこれ使う」と素材から色まで自分で考え保育者に伝えて用意してもらおうと試行錯誤言ひながら楽しんで作っていました。最後に完成した帽子を自分で被って見せてくれる表情はみんな満足そうでした!

たいよう組... 「みんなと一緒に」をテーマに楽しんで作れるものを考えました。女の子たちはみんなおねえが大好きで、「絵が描きたい!」からどんなものを作るかそれぞれ考え、思いが合った子ども同士のグループで作り始めていました。男の子たちはやりたいことは一緒なので、作りたてのものアイデアがいっぱい湧き、一つひとつ話し合っていました。いざ作り始めるとどのグループもどんどんアイデアが湧き出たとき、途中で話し合いもしながら女子好きなもの作りたてのものが出来上がっていき、「やった!」とグループでハイタッチしたり喜び合い達成感を感じているように見えました!

少し前までは「こうしたい!」という思いがあっても、それを表現するやり方が分からない、言葉にできない、もしくは思いも曖昧な部分があって、結局どうしたのか自分でも分からず...という姿が色々な場面で見られていました。それが心も身体も成長してきることによって、「まずは考えて自分の中で思い描く。それを言葉にして相手と共有する。そして思い描いたことを表現する」ということを無意識に楽しみながらやっています。そら組の帽子はそれぞれコンセプトがあり、次にそれをどの素材でどう表現するかを考えて保育者とも話し合っていました。自分なりに表現して作った帽子を「素敵だね」「すごいね!」と褒めてもらうことで「これでよかったんだ」「今度はあれをやってみよう」と更に自信につながっているように見えます。たいよう組はやりたいことを友だちと話し、聞いたこと、それを理解した上で一緒に進めていき、時々新しく思い描いたことを取り入れていくなど、周りも気に掛けながら自分の思いを伝え合い、理解し合う難しさを経験してきたのではないかと思います。今回の経験が色々な意味での自信に繋がり、積極的にどんどん色々なことを経験してほしいと思います!!

